



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 4th May 2018

IDFプレスリリース

2018年5月4日ブリュッセル発

デーリーの継続的、包括的成功のためにきわめて重要な調和のとれた規格

Harmonised Standards Vital To Dairy's Continued Global Success

2018年5月1日、ダブリン：世界のデーリーセクターは、乳製品の貿易が成長し続けるならば、乳及び乳製品の調和のとれた分析法及びサンプリング法に対して努力を続けなければならないことを、先週（4月23日－28日）、ダブリンにて開催のIDF/ISO分析ウィークの参加者は知らされた。

同ウィーク中の分析シンポジウムにおいて、IDFグローバルスタンダードリーダーのジャーブ・エバース氏は乳及び乳製品の分析法及びサンプリング法の調和の歴史的背景及び継続的な重要性を説明した。エバース氏は、過去2世紀に亘って、衰える兆候もない乳及び乳製品の非常に広範囲な世界規模の貿易及び輸送の誕生及びその継続的な増大を目の当たりにし、この貿易を円滑にするために国際的に調和のとれた分析法及びサンプリング法の緊々の必要性を生み出したと述べた。

実際、乳及び乳製品を含む今日の世界貿易の多くは、調和のとれた分析法規格により補強されている。世界のデーリーセクターは、この成功に多大なる誇りを持つことができるが、その栄冠に胡坐をかくことはできない。世界規模でのデーリーの継続的成功を確実にするために、鍵となる重要な難題を克服しなければならない。これには、国際規格を開発する組織・団体間の協働の拡充と促進の必要性、乳・乳製品の新製品開発要素の開発及び内外のステークホルダーへの充実されたコミュニケーションが含まれる。世界が、持続可能な、安全かつ栄養豊富な乳製品を継続的に飲食できることを確保するために、我々は分析法のより世界規模での調和に向けて努力をすることが非常に重要である。

IDF事務総長キャロライン・エモンド氏は、次のとおり述べた。

「科学をベースとした世界規模の調和のとれた規格、ガイドライン、実施規範及び関連法の開発に積極的に貢献するということでは、IDFは世界のリーダーである。IDF／ISO分析ウィークなどのIDF行事はIDF活動計画の絶対必要な一部であり、ステークホルダーが知ることができ、IDFの専門家と国際規格開発をリードする他の国際組織と一緒に活動する特有の機会を提供している。私は、世界規模の規格の開発において、また、デーリーの将来の成功の基礎を備え付けることにおいてIDFが重要な役割を担っていることに誇りを持っている。IDF／ISO分析ウィークはIDFとISOの主催で、IDFアイルランド国内委員会によって組織された。同ウィークには、IDF及びISO、AOAC、ICAR及びUSPなどの規格開発組織から22カ国160名以上が参加した。

翻訳：J IDF事務局

编者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。